



喪祭儀

服部文庫
117
378



喪祭儀



葬祭儀

一 病大埒ニ至ラハ親類ヲシテ産土神ニ参リ祈禱セシムヘシ
 若シ命終ラハ亡體ハ面ニ白布又ハ白紙ヲ破テ屏風若
 クハ衝立ヲ建廻シ枕邊ニ案ヲ置テ水ト塩トヲ供ヘ
 夜ニ入ラズ燭ヲ點シ喪主親類側ニ侍坐スヘシ
 一 死去ノ趣支配ハ届夫ヘ告知スヘシ喪家ハ物コトニ静
 謐ヲ主トシ火ノ元萬端ニ心ヲツクヘシ近隣モナルヘキタテ
 心ヲ用ユヘシ

喪主

喪ニテ人ヲイフ嗣子ニテ行フヘシ子ナケレハ近キ親類ニ
 テ行フヘシ

相禮

表主の悲哀ニ堪へず諸事行願可からず事多クシ
此物テ葬祭ノ式ハ此者ニテ司ルヘシ

司客

客アシラヒスル者ヲイフ

司書

客ノ姓名ヲシル者ヲイフ

司計

金銭ノ出入ヲ司ル者ヲイフ

司具

葬具ノ事ヲ司ル者ヲイフ

司厨

勝手賄ヒ等ノ事ヲ司ル者ヲイフ

司藏

壇ホリノ事ヲ司ル者ヲイフ

給使

右ハ役ノ親類又朋友ノ中ニテ定ムヘシ人少ケレバ
役モ兼テ便利ニ随フヘシ

一葬具

ハ夫ミノ職人ニ作ラシムヘシ

靈牌

高廿九七八寸幅二三寸

覆

白布又白紙ニテ制ルヘシ

神

...

長一尺五寸ハカト木綿ヲ付ヘシ

牌案

常ノ枕ヨリ九四寸モ高ク制ルヘシ貧者ハ舊キ枕ヲ用ユルモ苦シカラス

棺

寸法宜シキニ從フヘシ貧者ハ早桶ニ入ルモアルヘシ其身分ニ應スヘシ

棺蓋

麻又ハ木綿ニテ作ルヘシ貧者ハ有年ノ衣服ヲ覆フモ苦カラス富ル者ト雖モ絹類ノ覆ヲ新ニ作ルヘカラス

表服

白布ヲ以テ常服ノ如ク制ルヘシ

禮服

冠袍或ハ上下ヲ分限ニ從ヒ白布ニテ制ルヘシ

衾褥

白布ニテ制ルヘシ

刀

木ニテ制ルヘシ

墓標

檜杉等ニテ制ル方三四寸長三四尺官位姓名ト死セシ日ヲ記スヘシ

卓

何ノ板ニテモ手輕ニ制ルヘシ寸尺定リナシ墓所ニ

松明

白張提燈ヲ用ニモ可ナリ

銘旌

官位姓名、柩ト記スヘシ

竹杖

長サ四尺杖頭ヲ紙ニ包ミ紙ヨリニテ結フヘシ

誌

石ニテ作り官位姓名ヲ書ス

辟木

細キ木ヲ方ニ削リ長サ一尺ハカリ頭ノカタヲ少割

キテ麻ヲ極ミ葬リ終リテ家ニ歸ル時各身ヲ被

フ料ナリ

一棺ニラサムル時、死者ノ面及ヒ手足ヲ拭ヒ新衣ヲ着セ

一禮服ヲ加フヘシ

死者ノ身体ヲ沐浴ストテ素裸ニシテ他人ニ見セ

ハ忍マサル事ナリ親類ノ中ニテモ最モ近親ノ者

ニ三人濕綿又ハ濕布ヲ以テ死者ノ面手足等ヲ

拭クヘシ他人ヲシテ見セシムル事ナカレ又金銀銅

鐵ノ類ヲ入ル、事ヲ禁ムヘシ殮メ畢ラハ別ノ一間

ニ遷シ榑木塩洗米等ヲ棺前ニ供フヘシ夜ハ燈

火ヲ點スヘシ

一司藏墓所ニ至リ塋ノ中ニ終ラハ幛ヲ張リ苔草薦ヲ

敷キ喪跣ヲ置キ傍ニ淨水ヲ汲ミヲカシムヘシ

一棺ヲ家ニ安置スル日數ハ一晝夜ナレハシ

一死ニ先ル日直ニ葬ルハ不宜又兩日又過スヘカラス但遠方ノ親類ノ来ルヲ待テト時宜モヨルヘシ香ハ靈前ニ供スヘカヲサルモノナレ氏棺ヲ置ノ間ハ坐敷ノ隅ナトニ燒ムモアヒカラス

一棺ヲ出サトスル前喪主及ヒ諸會葬ノ者拜禮ニ相靈禮靈牌ヲ棺前ニ捧ケ拜禮ニテ祭文ヲヨム終テ暫時之ヲ床ノ間ニ案ヲ居ヘ其上ニ安置スヘシ床ナリ

一棺ヲ出ス時喪主以下葬式ニ列ル者棺ノ前ニ拜シ然シテ墓所ニ昇キ行ヘシ上生ニ安置スヘシ但此迄出棺前出立ナト号シ會喪ノ者ハ酒食ヲ

施シタルハ全佛法施行ノ事ヨリ起リ之事ナレハ以來訖度相止ムヘシ

一行列ノ次第左ノ如シ
松明又提灯 二人

柩 一人

相禮 一人

洗米 一人

銘旌 一人
棺 一人
杖 一人
喪主 一人

親類

一墓所ニ至ラハ棺ヲ遷附或ハ薦ノ上ニ置キ供物ヲナシ
喪主以下皆ミ盥ヒ歌ヒテ拜禮スヘシ然テ相禮祭
文ヲ讀ミ終ラハ懷中ヨリ散米ヲ取出テ壙中ニ散ス
散シ終テ棺ヲ壙ニ下シ誌ヲ入レ埋ムヘシ埋メ終ラハ
墓標ヲ建テ前ニ柙ヲサシ墳墓ノ廻リニ籬ヲ造ラ
ヘシ其後銘旌喪器ヲ燒キ辟木ヲ以テ身ヲ殺ヒ
テ家ニ歸ル家ニテハ留守者辟木ヲ以テ殺除シ歸ルヲ
待ヘシ

一家ニ歸ラハ靈祭ヲ行フヘシ是ヲ初祭トス
相禮ノ者榮木ノ折枝ニ木綿垂紙ニテ作ルモヲ付テ
案ノ正中ニ立テ左右ニ米塩ヲ供ヘ次ノ案ニ菓子野

菜干魚等ヲ供ヘ案ノ左右ニ燈火ヲ供フヘシ相禮
案頭ニ進ミテ祭文ヲ讀ム喪主以下親類進ミテ
再拜ス相禮再拜シテ退ク喪主以下又再拜給使
供物ヲ撤ス

一五日十日二十日三十日四十日五靈祭スヘシ

但シ手輕ニスヘシ最忌明ノ期迄ハ悲哀ノ情ヲ盡クヘ
シ神佛ノ酒食ヲ配下シテ謹テ嘗ル宜シ獻酬ナド
スヘカラス

一父母ノ喪五十日ヲ忌中トス門ヲ杜テイテス尤墓祭
八日ニ忌ルヘカラス忌明ノ日靈祭ヲ行フヘシ其儀初
祭ニ於テ同シ此ヲ中祭トス此祭以後ハ先祖ヲモ配セ祭
ルヘシ

此時初ノテ解魚ヲ供フヘシ時宜ニヨリテハ干魚ニテモ若シカラス 喪主當日疾
 起テ盥嗽キシ牌前ニ榮木ヲ立テ幣饌ヲ供幣二枚重テ
程ヨク巻テ 又其時申ニ候ヘシ 辛ヲ供ヘ靈前ニ進ミ再拜拍手
 シテ祭文ヲ讀ム讀ミ終テ退ク給使供饌ヲ撤ス服
 中ハ殊ニ騒ニ敷事スヘカラス情實ノ餘リテ禮ノ足ラ
 甘食宜シ外飾ヲハ勤メテ去ルヘシ扱靈祭終ラハ靈牌
ハ常ノ靈舎ニ遷スヘシ
 一 百日ノ期ニ至テ靈祭スル事五十日靈祭ニ同シ
 一 一年ノ期ニ至テ除服シ又靈祭スヘシ此ヲ季祭トス
 當日家内ヲ清浄ニシ主人ハ行水シテ身ヲ清メ靈
 牌ヲ床ノ間ニ遷シ其前ニテ祭ルヘシ此時ニ至リテ近
 親親友ヲ招キ膳食ヲ供シ時シク昔ノ事ヲト語り

アヒテ神靈ヲ慰ムモ又孝ノ一端ナルヘシ以後先祖ノ
 祭ニ列子テ春秋二月八月兩度靈祭カクルヘカラス但
 シ父母ノ齊日ハ一年ニ一度ツ、終身辛輕キ靈祭スヘシ
 一 墓所ニ石牌ヲ建ツヘシ但富者ト雖モ惣丈三尺ニ
 過ヘカラス

出棺詞

某乃君乃柩乃御前ニハニテ 白タク 某等世乃限仕奉テアツキ
 廣ク 御恩ヲ 報奉ル 武ヲ 思ハ 所ニ 留ル 間ニ 哀ヲ 悔ミ 加ヘ 此ノ
 顯世平倏忽ニ 罷生シ 幽界ニ 入座ス 世里ニ 如是ニ 有ル 爲ス
手便平不知八尺カ 歎ミ 歎ミ 支テ 夜書シ 伊波受テ 泣キ
都ニ在 禮騰ル 顯世乃定ム 限志ヲ 有ル 禮ヲ 今波奧都棄ル 戸ノ

伏フ世セ奉ホウ親シン族ソク諸シヨ野ノ邊ヘ御ミ供キョウ仕シ奉ホウ須ス故コ此コノ狀サマシ乎ヤ
介ケ久ク見ミ行コウ志シ聞クニ食シ立ツキ此コノ仕シ奉ホウ礼レ留ル御ミ靈レイ代ダイ奇キ支シ御ミ魂タマ乎ヤ
知チ給キ比ヒ止メ給キ比ヒ立ツキ遠トク久ク永トク鎮チン坐サ止メ宇ウ自ジ物モノ頭カビ根ネ突ツキ
按ア互ニ申マシ源ノ

妻子弟妹等ハ

某ナニ乃ノ君キミ乃ノ柩コウ乃ノ御ミ前マヘ白シラ左サ又マタ此コノ乃ノ家イヘ内ウチ乎ヤ弥ニ益ク乎ヤ
饒ニギハヤヒ比ヒ命ノミ榮サカシ世ヨ乃ノ限カヘ穴アナ奈ニ比ヒ扶タサケ給キ布フ嬉メ美カミ忝カチ美メ母ハハ思オモヒ比ヒ
賴タカシ美メ都ツ在ア經キ留ル間マ乎ヤ以下同

埋葬詞

某ナニ乃ノ君キミ乃ノ柩コウ乃ノ前マヘ白シラ左サ又マタ今日ケノヒ乎ヤ限カヘ此コノ與ヨ都ツ棄ス尸シ伏フ世セ
奉ホウ互ニ此コノ乃ノ荒アラ野ノ御ミ供キョウ仕シ志シ事コト波ハ親シン族ソク子コ等ト贊サマシ心ココロ乎ヤ

悲カミ悔クシ久ク不ア飽カス思シ奉ホウ礼レ現ウツ世ヨ乃ノ定サダ止ト限カヘ老シ有ア礼レ婆ハ此コノ乃ノ墓カ
所トコロ乎ヤ堅カキ磐イハ常トコ磐イハ乃ノ鎮チン所トコロ止メ定サダ奉ホウ互ニ懇コン切キツ藏カク奉ホウ利リ仕シ
奉ホウ狀サマシ乎ヤ平ヘイ久ク安ヤス聞クニ食シ互ニ鎮チン坐サ止メ頭カビ根ネ突ツキ按ア互ニ頭カビ

初祭詞

某ナニ乃ノ君キミ乃ノ靈レイ乃ノ前マヘ白シラ左サ又マタ枕マク邊ヘ脚タビ邊ヘ侍サマシ良ラ比ヒ進シ里リ志シ藥ヤク
餌メ乃ノ驗ケン毛モ遂ス尔ニ不ア著カク隱カク坐マ如ニ礼レ親シン族ソク子コ等ト共ニ乎ヤ悲カミ美メ悔クシ
美メ慕ホシ歎ナク天アメ乃ノ登ノボ坐マ志シ神カミ魂タマ乎ヤ此コノ乃ノ小コト床トコ招マシ奉ホウ齊サイ奉ホウ利リ
酒サケ食シ海ウミ物モノ野ノ物モノ種タネ物モノ取トル並ニ親シン族ソク朋トモ友トモ寄ヨリ集ツク互ニ祭マシ仕シ奉ホウ
事コト乎ヤ平ヘイ久ク安ヤス聞クニ食シ止メ頭カビ根ネ突ツキ按ア互ニ頭カビ

五十日祭詞

此コノ乃ノ君キミ乃ノ靈レイ乃ノ前マヘ白シラ左サ又マタ今日ケノヒ乎ヤ限カヘ此コノ與ヨ都ツ棄ス尸シ伏フ世セ
奉ホウ互ニ此コノ乃ノ荒アラ野ノ御ミ供キョウ仕シ志シ事コト波ハ親シン族ソク子コ等ト贊サマシ心ココロ乎ヤ

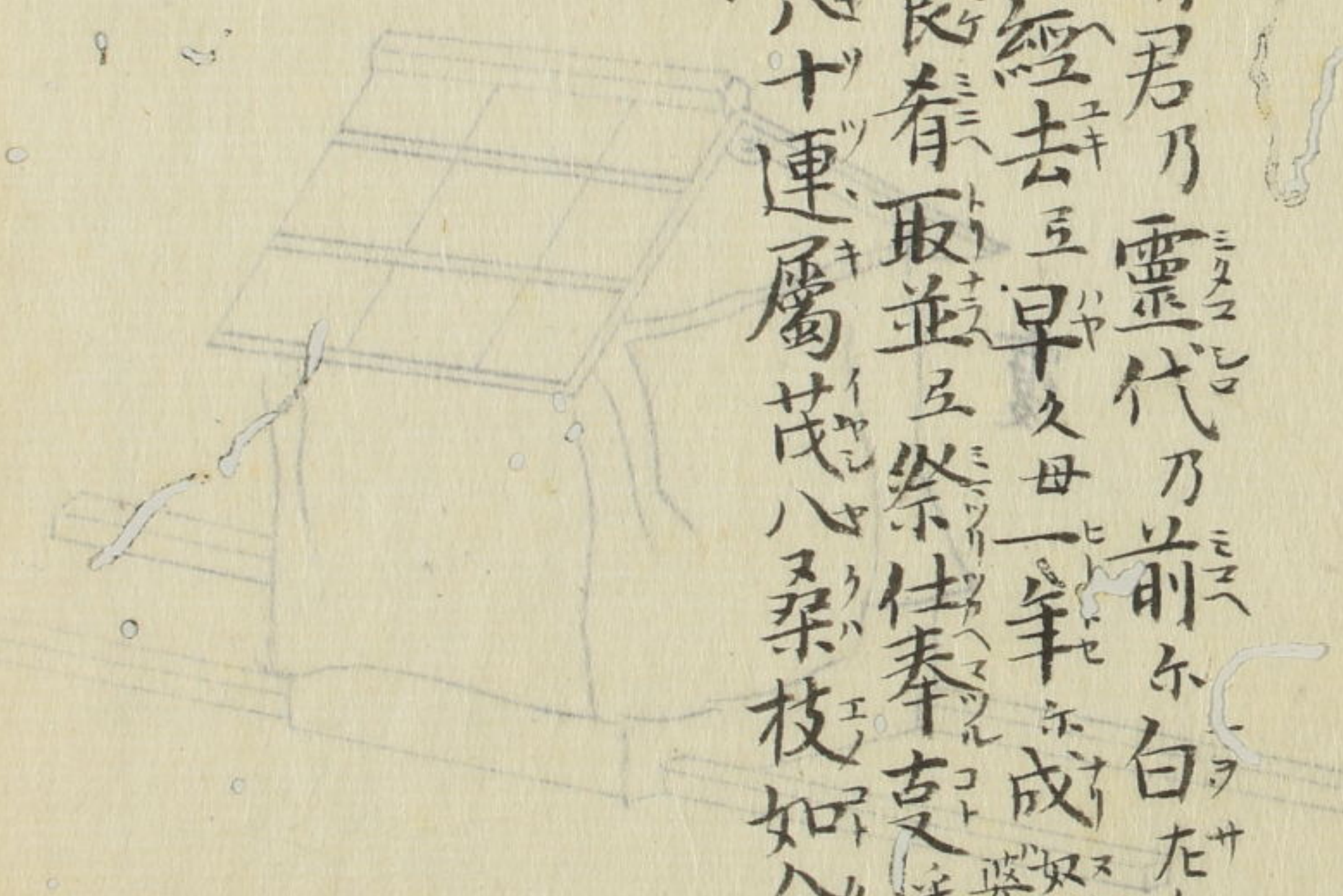
此乃小床坐表利齋奉禮留某乃君乃靈代乃前尔白在久
阿波礼世乎去坐朝歎支尔意此都在經苗程尔不
覺毛日數經去今日波五十日乃日止成親族朋友打
集五幣酒食有種乃机代物取並且御祭仕奉事乎平
久安久聞食止頸根突拔互白須

遷靈牌於祭齋詞

某乃靈乃前尔白久今日波五十日乃日乃祭毛支無久仕奉
利支單如礼靈代波祭齋尔移志互代乃祀等止共
尔坐奉互朝尔尔齋奉利春秋乃祭尔毛仕奉為苗
形乎平久安久聞食互高天原与利有通都子孫乃八
十連屬尔至麻守賜并止恐恐毛白須

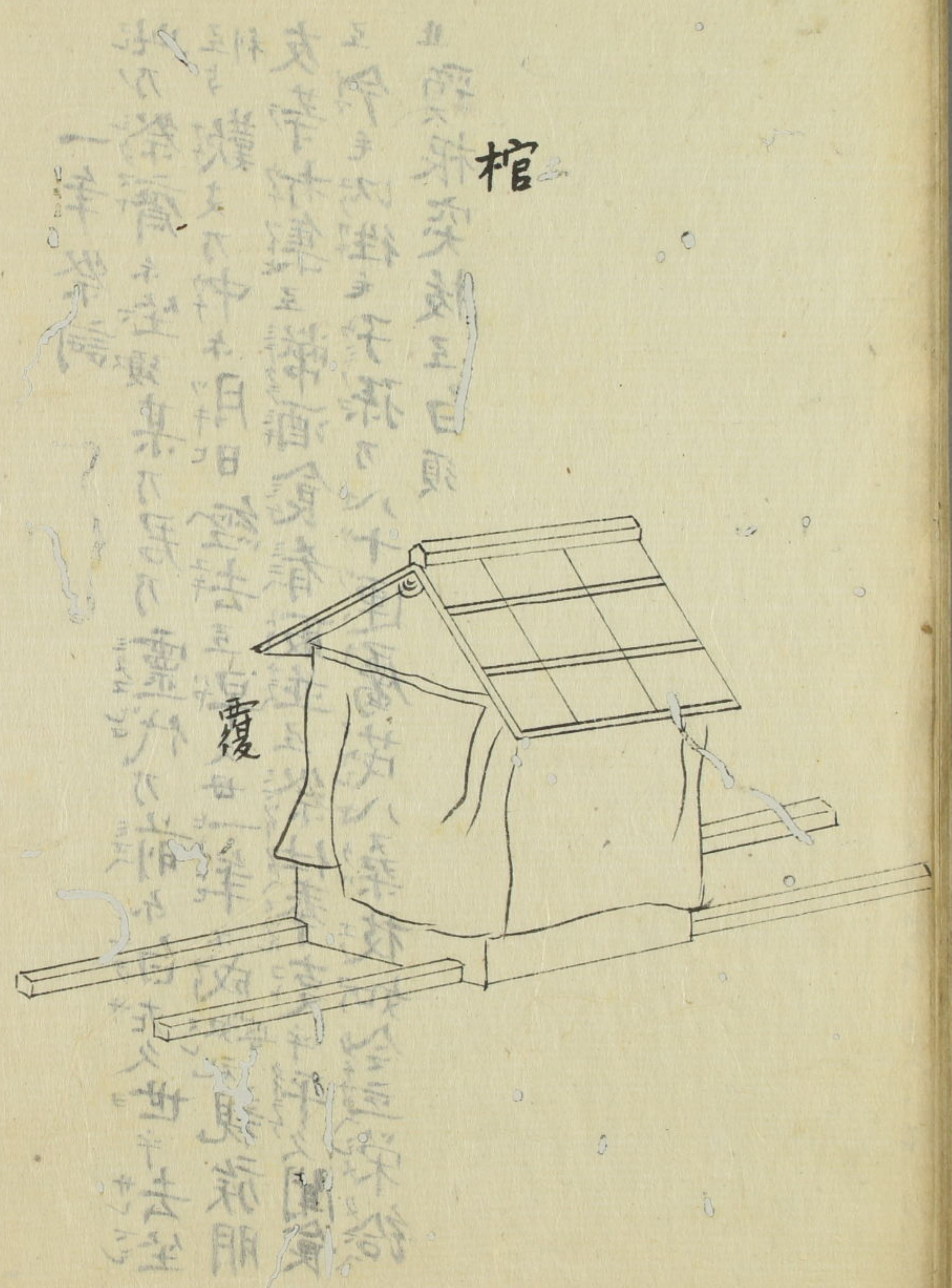
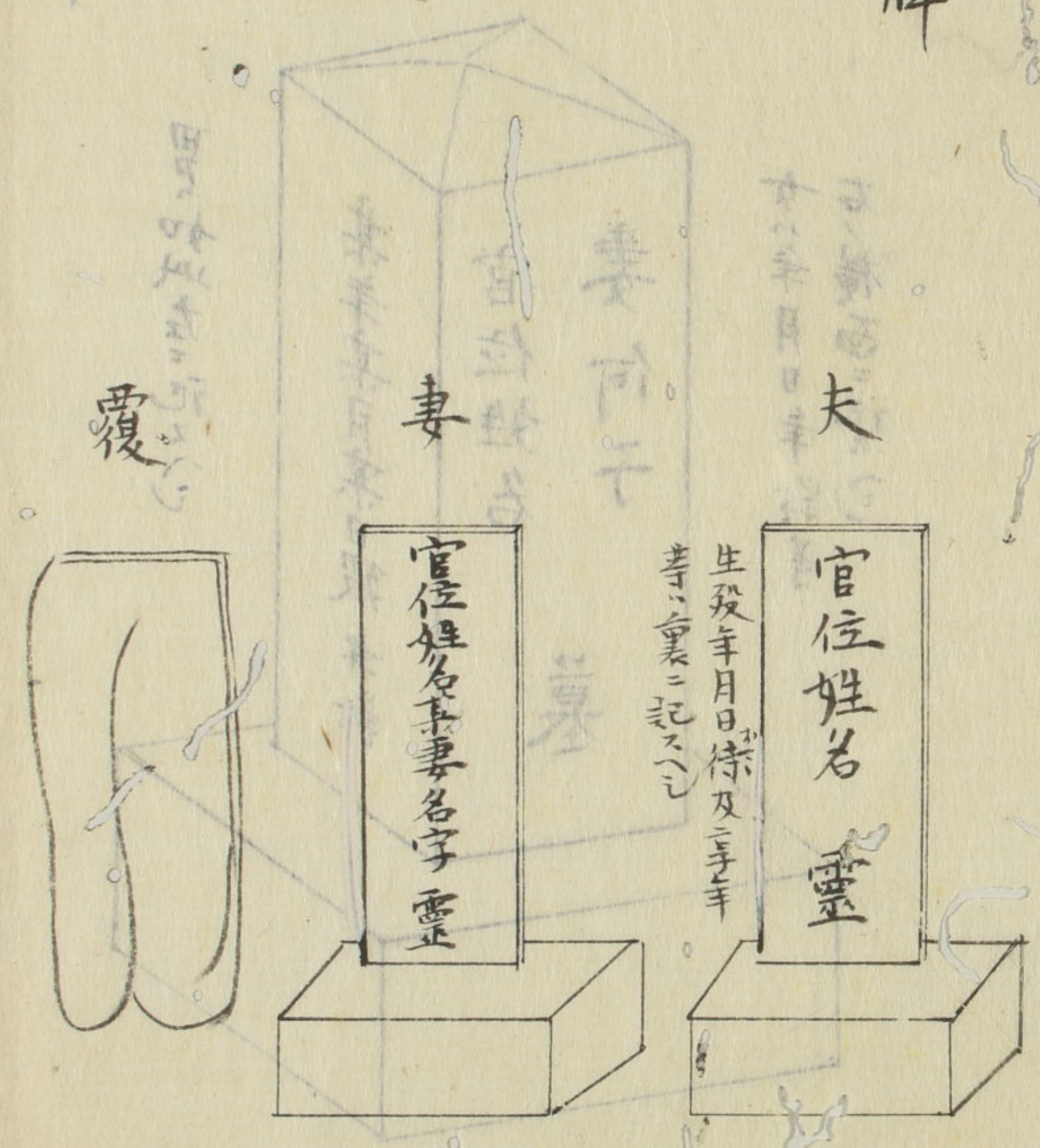
一年祭詞

此乃祭齋尔坐須某乃君乃靈代乃前尔白在久世乎去坐
利与歎支乃中尔月日經去互早久母一年尔成親族朋
友等打集互幣酒食有取並且祭仕奉支乎平久聞食
互令毛以往毛子孫乃八十連屬茂八桑枝如令三榮給
止頸根突拔互白須



墓

靈牌



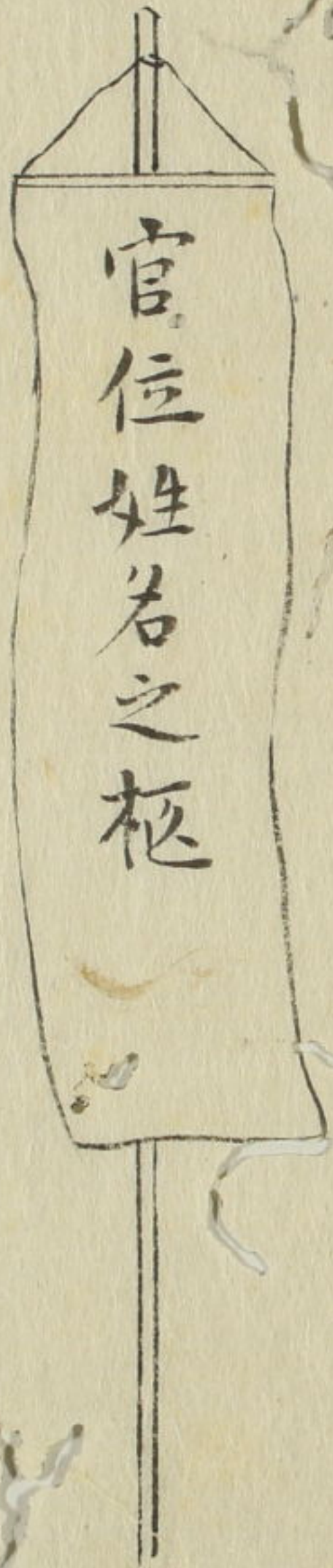
墓標



辟木



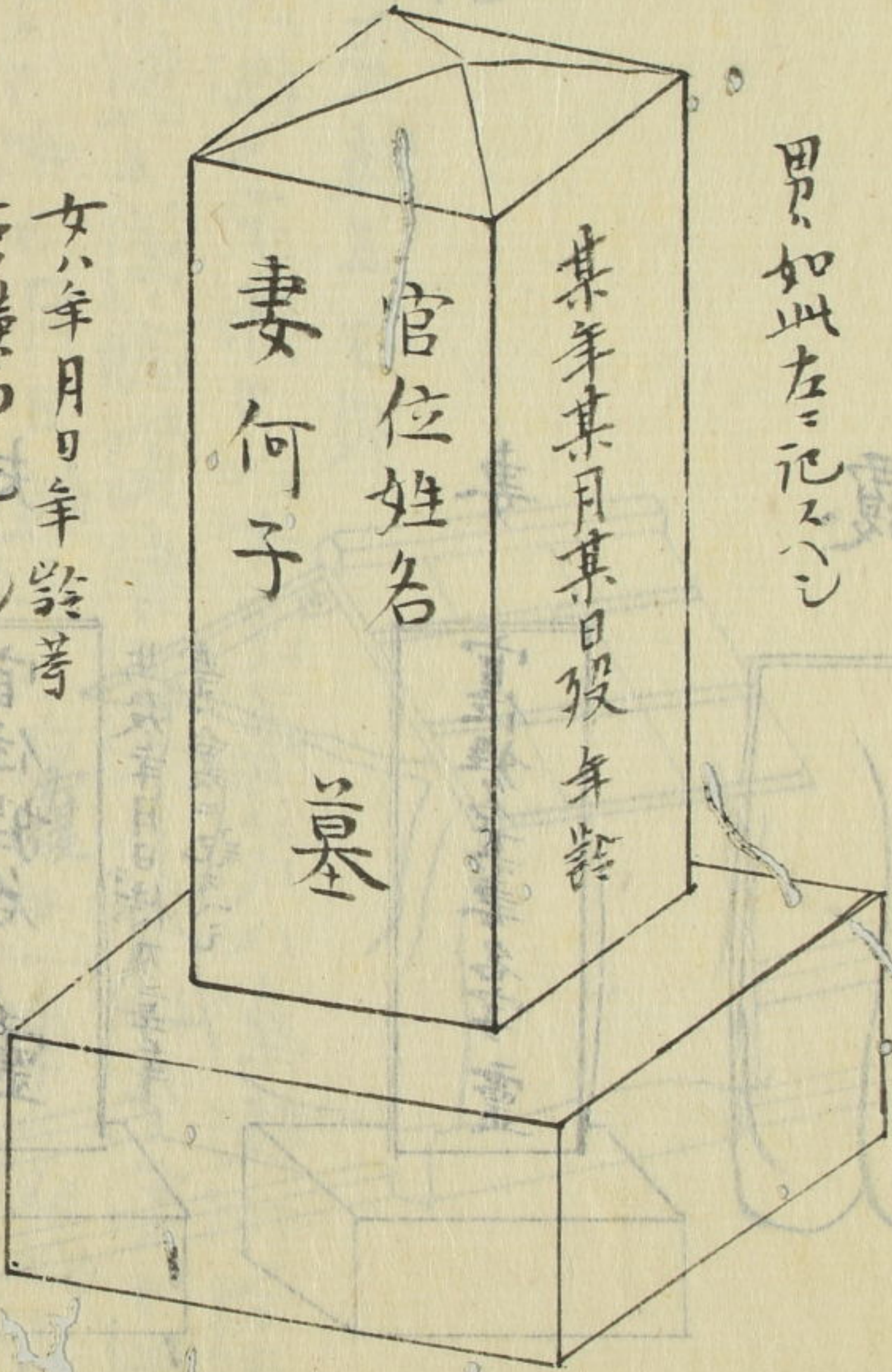
銘旌



官位姓名之柩

墓碑

買如此左記之



妻何子

官位姓名

墓

某年某月某日歿年終

女八年月日年終等
右橫面記之



篆

木

篆

